

社会薬学,31(2),2012 in press

—報告—

病院薬剤師版職務満足度測定尺度 (JOBSS-HP27) の開発

Development of the Hospital Pharmacist Job Satisfaction Measurement Scale (JOBSS-HP27)

濃沼 政美,\*<sup>a</sup> 真田 佳美,<sup>a</sup> 山口 諒,<sup>a</sup> 湯本 哲郎,<sup>b</sup> 宮崎 美子,<sup>c</sup> 佐藤 透,<sup>d</sup> 徳永 仁,<sup>e</sup>  
高村 徳人,<sup>e</sup> 林 宏行,<sup>a</sup> 中村 均,<sup>a</sup>

Masayoshi KOINUMA, \*<sup>a</sup>Yoshimi SANADA,<sup>a</sup> Ryo YAMAGUCHI,<sup>a</sup> Tetsuro YUMOTO,<sup>b</sup>  
Yoshiko MIYAZAKI,<sup>c</sup> Toru SATO,<sup>d</sup> Jin TOKUNAGA,<sup>e</sup> Norito TAKAMURA,<sup>e</sup> Hiroyuki  
HAYASHI,<sup>a</sup> Hitoshi NAKAMURA,<sup>a</sup>

<sup>a</sup> 日本大学薬学部, <sup>b</sup> 星薬科大学, <sup>c</sup> 東戸塚記念病院, <sup>d</sup> 菊名記念病院, <sup>e</sup> 九州保健福祉大学薬学部

<sup>a</sup>*School of Pharmacy Nihon University,* <sup>b</sup>*Hoshi University,* <sup>c</sup>*Higashitotsuka Memorial Hospital,* <sup>d</sup>*Kikuna Memorial Hospital,* <sup>e</sup>*School of Pharmaceutical Sciences, Kyushu University of Health and Welfare*

文献請求先:

日本大学薬学部 〒274-8555 千葉県船橋市習志野台 7-7-1

文字数 (目的～引用文献): 5,963 文字

表 2、図 1、添付資料 2 枚 (400×5=2,000 文字相当)

合計: 7,963 文字

## Summary:

To provide high quality hospital pharmaceutical services, job satisfaction must be maintained and continuously improved among individual pharmacists. For this, managers of pharmaceutical departments occasionally need to determine and understand the reasons for dissatisfaction and seek concrete solutions. This study outlines the development of an objective survey tool for measuring job satisfaction among hospital pharmacists.

6-member pharmacist panels were convened to develop the survey tool. The panels modified the Stamps-Ozaki scale, which is a generic job satisfaction scale for nurses, to create a survey tool applicable to pharmacists. A preliminary survey questionnaire was sent to 916 members of the Japanese Society of Hospital Pharmacists; only 482 members responded (52.6%). An itemized data analysis of responses was performed to refine and narrow the question list to include the most appropriate and informative questions. The final list comprised 27 questions. These questions (termed Temp-Job Satisfaction Survey (JOBSS)) formed an interim version of the survey measuring job satisfaction among pharmacists. The questions were then divided into 6 categories, including “medical team” and “structure of the pharmaceutical department.” We then obtained Cronbach's alpha coefficients for all categories. Values  $>0.7$  were observed for all categories, indicating acceptable internal consistency. Thus, these 27 questions formed the Job Satisfaction Scale of Hospital Pharmacists-27 (JOBSS-HP27). This survey tool can be used for an objective measurement of job satisfaction in this profession. It also facilitates individual or facility benchmarking and can be used to measure and track concrete improvements in job satisfaction.

(243Word )

## Key Word

Hospital Pharmacist; Job Satisfaction; Human resource management, Stamps-Ozaki scale; Multivariate analysis

サマリー和訳：

質の高い病院薬剤業務を実践するためには、個々の薬剤師の職務満足度を維持し、さらに向上させることが重要である。このためには、病院薬剤部門の管理者は人材管理の際、随時、職員の不満を把握し、その要因を明らかとして、具体的な改善策を施すことが必要である。そこで本研究では病院薬剤師の職務満足度を客観的に測定可能な尺度（質問票）の開発を行った。

6名の病院薬剤師パネルに、看護師の職務満足度尺度として汎用されている

「Stamps-尾崎翻訳修正版尺度」を病院薬剤師向けに加筆・修正させ、予備調査票を作成した。この予備調査票を日本病院薬剤師会会員名簿（2008）より抽出した916名に郵送し、482名（52.6%）より回答を得た。回収した予備調査票から病院薬剤師の職務満足度を識別する上で相応しい設問を絞り込むために項目分析を行い、27設問を抽出した。この27設問を暫定の病院薬剤師版職務満足度測定尺度とし、これに対し因子分析を行ったところ、「チーム医療」「薬剤部門業務体制」などの6因子に分類できた。さらに、クロンバックの $\alpha$ 係数を求めたところ、全ての因子において0.7以上の値が認められた。この検証結果から、この27設問を病院薬剤師版職務満足度測定尺度（Job Satisfaction Measurement Scale for hospital pharmacist-27 : JOBSS-HP27）とした。JOBSS-HP27を用い客観的に病院薬剤師の満足度を測定することで、個人や各職場における満足度がベンチマーク可能となり、具体的な職務満足改善策を検討することができると思われる。

キーワード：

病院薬剤師、職務満足、人材管理、Stamps-尾崎翻訳修正版尺度、多変量解析

## 【目的】

労働者が高い職務満足感を持ち労働することは、職場の士気や業績の向上につながるとされている<sup>i)</sup>。また、離職率と無断欠勤率は顕著に職務満足度を反映しているとされ、離職率が低いほど労働者の職務満足度の高い職場であるとされている<sup>ii)</sup>。これは、製造業やサービス業など業種を問わず、労働の質と職務満足度には強い関連性が示されていることから、質の高い労働を行うためには、個々の労働者の職務満足度を維持し、さらに向上させることが重要である。この論理は、病院薬剤師部門においても当てはまると考えられることから、病院薬剤師が質の高い業務を実践するためには、部門管理者は人材管理の際、随時、職員の不満を把握し、その要因を明らかとして、具体的な改善策を施すことが必要である。

我が国の看護職においては、職務満足度を客観的に測定するための尺度として、L.Stamps (1978) が開発した質問票を、尾崎らが翻訳し改変日本版とした「Stamps-尾崎翻訳修正版尺度<sup>iii)</sup>」が汎用されている。一方、薬剤師に向けた職務満足度測定尺度は存在しておらず、このため職務満足に関する公表論文も看護師や医師と比較して極めて少ない。そこで本研究では病院薬剤師の職務満足度を客観的に測定するための尺度（質問票）の開発を行うこととした。質問票には病院薬剤師独自の職務満足度を測定するための設問を設け、更に前述の「Stamps-尾崎翻訳修正版尺度」を、日本の病院勤務状況に適合させた金川の質問票<sup>4)</sup>（以下、尾崎修正版尺度）をベースに調査票の開発を行った。病院薬剤師の視点に基づく職務満足度に対する設問を開発し、更に「尾崎修正版尺度」を病院薬剤師用にするための検討を加え、回答者の負担を軽減するため、より少ない設問数で正確に職務満足度が測定可能な質問票を作成した。そして、この質問票の妥当性および信頼性の検証を行い、病院薬剤師用職務満足度測定尺度（Job Satisfaction Measurement Scale for hospital pharmacist-27 : JOBSS-HP27）を開発した。

## 【方法】

### 1. 予備調査票の作成

#### 1) 病院薬剤師パネルの選定

JOBSS-HP27 のベースとなる予備調査票作成のために、病院薬剤師の人員配置基準が異なる 3 分類（ア.特定機能病院、イ.一般病院、ウ.精神・療養病院）と 2 種類の職位（1.管理職、2.指導職）に該当する 6 施設 6 名の病院薬剤師をパネルに選定した。

#### 2) 新規設問の検討および「尾崎修正版尺度」の設問改変

6 名のパネルの元に同一の研究者が赴き、研究概要の説明を行った後、新規設問の検討および「尾崎修正版尺度」の設問改変方法を説明した。

6 名のパネルが、個々に一般的に病院薬剤師が満足と感じる項目を列挙し、この内容から新たな設問文を作成した。また、「尾崎修正版尺度」の設問については、病院薬剤師の満足度を測定する設問として適切であるか否かを判定し、薬剤師が回答する上で修正する必要がある設問については、薬剤師が回答できるように変換した。この改変内容を集計し、6 名のパネル間で相違があった場合は、人数の多かった改変内容を用いることとした。そして、これらの結果に基づき、病院薬剤師の職務満足度を問う複数設問からなる予備調査票を研究者が完成させた。

#### 3) 測定尺度・配点の決定

測定尺度は「全くそうだ」、「おおむねそうだ」、「ややそうだ」、「どちらでもない」、「やや違う」、「おおむね違う」、「全く違う」の 7 段階のリッカートスケールとした。なお、「尾崎修正版尺度」は様々な検証に基づき、各設問の満足度点数が 6 点～0 点となるように配点されており、全 46 設問のうち 19 設問は「そうだ」と肯定するほど得点が高く、また逆に 27 設問は逆転設問として「違う」と否定するほど得点が高くなる仕組みとなっている。そこで「尾崎修正版尺度」を変換した設問に関しては、この配点を用いた。なお新規に作成した設問では、逆転設問を含め、回答者が満足すると想定した問いかけ方向から満足しないという方向に向け、6 点～0 点と配点した。

### 2. 予備調査票を用いた病院薬剤師の全国調査

平成 18 年度日本病院薬剤師会会員名簿（薬事新報社）より 1 ページから 1 名ずつ規則的に抽出した全国の病院薬剤師 916 名を対象に予備調査票を郵送した。調査票は完全な自由意志による回答として無記名にて回収した。調査は、平成 20 年 9 月 1 日から 10 月 31 日の期間に実施した。

また予備調査票の他、回答者属性として、年齢、役職などの項目も調査した。

### 3. 病院薬剤師職務満足度測定設問の選定

全国調査で回収した調査票をスプレッドシートに入力し、データテーブルを作成した。予備調査票から病院薬剤師の職務満足度の測定に相応しい設問のみを抽出するため、多変量解析の一手法である項目分析を行った。項目分析では、データを正解、不正解のように2値データの名義尺度として取り扱う必要があることから、連続尺度である各設問の配点において6点～4点を「満足」、3点～0点を「不満足」としてデータ変換してから解析した。項目分析では、各設問に対し識別力というパラメータが算出されるが、この値が高いほど回答者の満足・不満足を識別出来る設問といえ、また、低いほど回答者の満足・不満足を識別し難い設問といえる。そこで識別力値が中央値以上の設問を抽出した。そして、これらの設問から構成される質問票を暫定の病院薬剤師版職務満足度測定尺度（Temporarily Job Satisfaction measurement Scale of hospital pharmacist；以下、Temp-JOBSS）とした。

### 4. Temp- JOBSS に対する構成概念妥当性・内的整合性の評価

#### 1) 主成分分析・因子分析による測定尺度の構成概念妥当性の検証

項目分析により抽出した設問群が病院薬剤師の職務満足度測定尺度として、その構成概念が妥当であるかを検証するために、主成分分析ならびに因子分析を行った。項目分析により抽出した設問に対し、相関係数行列から主成分分析を行い、固有値が1.0を上回った成分数を採用した。因子分析により因子構造の単純化を行うため、Quartmin回転（斜交回転）を行った。さらに因子負荷量0.4以上を基準に因子を抽出し、因子の意味合いについて解釈・命名を行い、開発した満足度尺度の構成妥当性を検証した。

#### 2) クロンバックの $\alpha$ 信頼性係数を用いた内的整合性の判定

クロンバックの $\alpha$ 信頼性係数は、尺度の内的整合性を推定する係数であり、因子内の設問の均質さを示す値とされ、一般的に0.7以上であれば良好とされる<sup>v)</sup>。そこで、因子分析によりグループ化した各設問群に対してクロンバックの $\alpha$ 信頼係数を算出し、開発した満足度尺度の内的整合性を検証した。

### 5. 統計ソフトウェア

項目分析、主成分分析、因子分析、クロンバックの $\alpha$ 信頼性係数の算出には、探索的統計解析ソフト JMP®8.02 (SAS Institute)を使用した。

## 【結果】

### 1. 予備調査票の作成

病院薬剤師は、学会発表や論文投稿、研究活動が行える環境であるか否かが満足度に影響を与えるというパネルの議論から、「学会発表や論文投稿を積極的に行える」、「私がやりたいと思っている研究活動をサポートしてくれる」という設問を新規に作成した。また、専門薬剤師の資格を積極的に取得できる環境であるかを問うために、「病院の管理者は専門薬剤師や認定薬剤師などの資格取得に関して協力的ではない」という逆転的な設問を追加した。

また、「尾崎修正版尺度」の46設問に対しては、30設問について病院薬剤師用に語句変換を行い、16設問はそのままの文言を用いた。なお、最も多く変換した語句は、「看護師あるいは看護職員」という表現を「薬剤師」に変換したものであった。そして合計53設問から構成される予備調査票が完成した。

### 2. 病院薬剤師全国調査の集計

予備調査票の回収率は52.6% (482/916件)であった。回答者の年齢構成は、20代25.6%、30代25.4%、40代21.9%、50代22.7%、60代以上4.4%であった。平成18年度「医師・歯科医師・薬剤師調査の概況（厚生労働省）」による薬剤師の年齢構成と比較すると大きな隔たりがなかったことから、本個票データは標本として代表性があると判断した。なお、回答者の役職は、管理職24.1%、指導職22.7%、その他53.2%であった。

### 3. 識別力値に基づく設問の抽出

項目分析により得られた識別力値は、 $1.04 \pm 0.47$  (平均 $\pm$ SD)であり、中央値は1.008 (範囲: 0.135~2.202)であった。識別力値が中央値以上となる設問を選定したところ27設問が抽出された。これらの設問の中には、新規に作成した「薬剤師は医療チームの一員として受け入れられている」、「薬剤師の意見が他の医療従事者に受け入れやすい」、「私がやりたいと思っている研究活動をサポートしてくれる」、「薬剤師業務が経営者に評価されていないと私は感じる」、「薬剤師を含めて、雇用者の厚生についてよく考慮されている」の5設問が抽出された。そして、ここで抽出した27項目の設問群をTemp-JOBSSとした (Table 1)。

Table 1 挿入

### 4. Temp- JOBSS の構成概念妥当性・内的整合性の評価

#### 1) 構成概念妥当性・内的整合性の評価

27項目の設問から構成されるTemp-JOBSSの構成概念妥当性を評価するために、主成分分析を実施した結果、6成分目で固有値が1.07 (寄与率57.7%)となった。

ここで得られた主成分に基づき6回転の因子回転を行った結果、因子1: チーム医療、因子2: 薬剤部門業務体制、因子3: 上下関係、因子4: 仕事に対する誇り、因子5: 病院管理・経営者との関係、因子6: 職務上の自由度と命名することができた。さらに、内的整合性の評価のため、個々の因子毎にクロンバックの $\alpha$ 係数を

算出した結果、全ての因子においての係数が 0.7 を上回った。これにより Temp-JOBSS は内的整合性を確保していると判定した(Table 2)。

Table 2 挿入

## 5. JOBSS -HP27 の完成

Temp- JOBSS は職務満足度尺度としての構成概念妥当性および内的整合性が確保されていることが検証されたことから、JOBSS -HP27 は、「チーム医療」に関する 6 設問、「薬剤部門業務体制」に関する 7 設問、「上下関係」に関する 3 設問、「仕事に対する誇り」に関する 4 設問、「病院管理・経営者との関係」に関する 3 設問、「職務上の自由度」に関する 4 設問の計 27 設問から構成することとした。

さらに、JOBSS-HP27 は、満足度測定後の集計を効率化するために回答者シート、採点シートの 2 枚綴りとした。採点シートとは、回答者シートの得点を集計するためのもので、A.総合満足度（162 点満点）と B.因子別満足度の得点を記載できるようにした。特に因子別満足度に関しては、因子毎の得点率を算出することで、回答者が 6 因子中、どの因子の満足度が高く、どの因子の満足度が低いかを一目で判定できるようにした。添付資料 (1)・(2) 参照。

## 【考察】

今回我々が開発した JOBSS-HP27 は、「チーム医療（6 設問）」、「薬剤部門業務体制（7 設問）」、「上下関係（3 設問）」、「仕事に対する誇り（4 設問）」、「病院管理・経営者との関係（3 設問）設問）」、「職務上の自由度（4 設問）」の 6 因子 27 設問から構成される我が国初の病院薬剤師専用の職務満足度尺度である。これらの因子の中で、設問数が多い因子ほど、最終的に職務満足度の合計得点に影響を及ぼすことから、病院薬剤師の職務満足には、薬剤部門業務体制やチーム医療の状況が強く関係するといえる。

また、今回尺度開発のベースとした「尾崎修正版尺度」の構成因子は、「給料（9 設問）」、「職業的地位（8 設問）」、「医師・看護師間の関係（3 設問）」、「看護管理（9 設問）」、「専門職としての自立（5 設問）」、「看護業務（6 設問）」、「看護師間相互の影響（6 設問）」の 7 因子 46 設問から構成されており、設問数の配分から、看護師の満足度には、給料や職業的地位、看護管理が強く関係することが明らかとされた。

この 2 つの尺度からそれぞれの職種の仕事満足に強く関係する因子を比較すると、看護師では、給与や地位などの個人の利益が職務満足に影響することがわかり、一方、病院薬剤師ではチームや薬剤部門など個人よりもグループの利益が職務満足に影響することがわかった (Fig. 1)。

### Fig. 1 挿入

このように、JOBSS-HP27 は「尾崎修正版尺度」をベースに開発されたものであるが、それぞれの尺度において因子の満足度への影響度が全く異なることから、この 2 つの尺度は全く異なる独立したものであると考えられた。

また各論としては、JOBSS-HP27 において「私がやりたいと思っている研究活動をサポートしてくれる」という設問は「職務上の自由度」という因子に分類され、項目分析において識別力が 1.52 と高く、病院薬剤師の仕事満足度の決定において影響力の高い項目であることがわかった。これにより病院が組織として研究活動をサポートすることは、病院薬剤師の仕事満足度向上に対して、有効な項目の因子であると考えられた。Felt<sup>vi)</sup>らによれば、仕事の満足因子は刺激の増加やチャレンジ精神を起こさせる環境であるとしていることから、日常業務をルチン業務だけに終わらせず、研究活動をサポートし、論文投稿や学位取得など様々な刺激を与えることが満足度向上には有用であると考えられた。

また、「薬剤師は医療チームの一員として受け入れられている」、「薬剤師の意見が他の医療従事者に受け入れやすい」の 2 設問は、「チーム医療」という因子に分類され、医療チームの中で薬剤師の役割を果たすことが満足度に影響を与える因子として構成され、識別力値が 2.20、2.08 と他の設問に比較し高い値を示したことから、病院薬剤師の仕事満足を決定する上で、チーム医療に受け入れられていると意識するか否かが、大きな要因となることが明らかとなった。

これまで、病院薬剤師のための職務満足度測定尺度が存在しなかったことから、客観的評価に基づく病院薬剤師の満足度や各職場間の職務満足度のベンチマークは不

可能であった。しかし、JOBSS-HP27の開発により、病院薬剤師の満足度を客観的に測定することが可能となり、薬剤部門内の人材管理の一環として、個々の薬剤師の不満原因の探索や研究意欲などの把握、またチーム医療に対する考え方などを分析するための有用なツールとして活用が期待できる。

今後、多くの病院薬剤師や研究者がJOBSS-HP27を運用し、更に設問の見直しなどの改善が加えられることで、成熟した満足度尺度が完成するものと考えている。本研究を皮切りに病院薬剤師における職務満足度研究が発展することを望む。

【引用文献】

i)中川典子,林千冬.日本における看護職者に関する職務満足度研究の成果と課題ー過去15年間のStampsー尾崎修正度版尺度を用いた研究の文献レビュー.日本看護管理学会誌 2004; 8(1):43-57.

ii)Diamond,LK., Fox,DJ., Turn over among Hospital Staff Nurses. *Nurses Outlook* 1958;6(7):388-391.

iii)尾崎フサ子, 忠政敏子, 看護婦の職務満足質問紙の研究 Stamps らの質問紙の日本での応用.大阪府立看護短期大学紀要 1988;10(1):17-24.

iv)金川 治美, 看護婦の職場満足に関する研究 自我状態との関連.神戸市立看護短期大学紀要 1995;14:247-257.

v)舟島なをみ,定廣和香子, 亀岡智美, 鈴木美和.看護学教員ロールモデル行動自己評価尺度の開発ー質的帰納的研究成果を基盤としてー.千葉大学看護学部紀要 2000;24:9-14.

vi)Felt BL., .Absenteeism in Nursing. *Nursing Management* 1982;13(1):30-38.

Table 1 予備調査票を用いた病院薬剤師全国調査データに対する項目分析結果  
 識別力高値の27設問(Temp-JOBSS)と各設問の由来

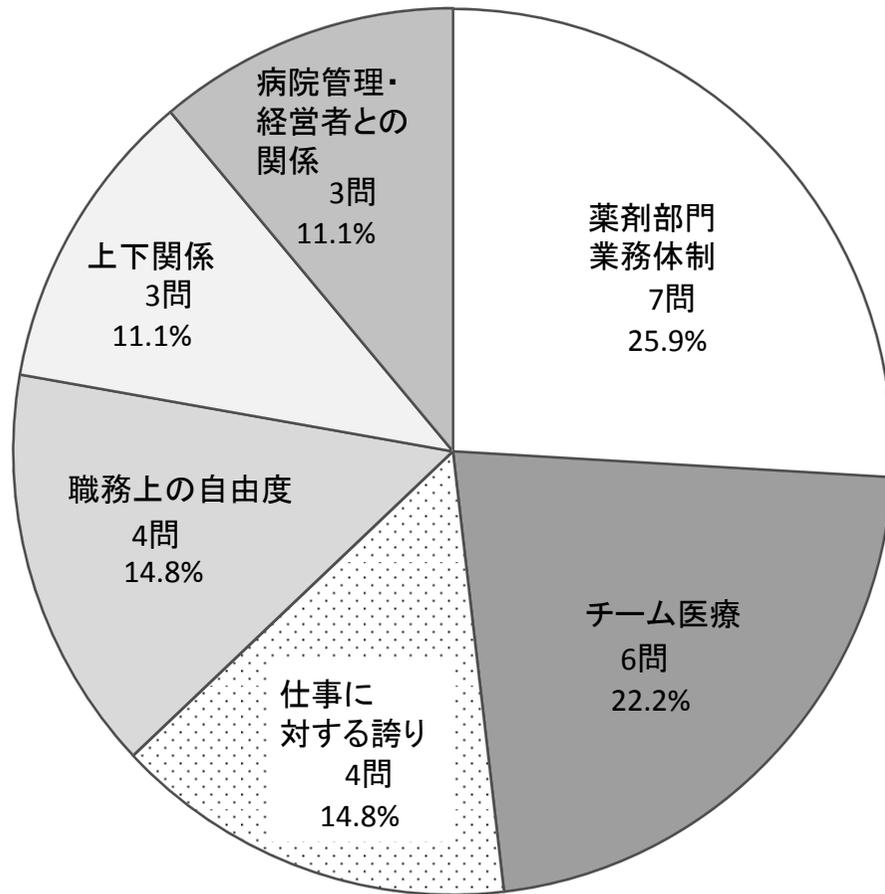
識別力 昇順	識別力値	設問	設問由来	
			尾崎尺度の改変	新規設問
1	2.202	私の病院の薬剤師は医療チームの一員として受け入れられている。		○
2	2.083	この病院では薬剤師の意見が他の医療従事者に受け入れやすい。		○
3	1.822	私の病院では、薬剤師と医師の間のチームワークが良い。	○	
4	1.773	私は一生懸命おこなっている仕事に結局何の意義も見いだせないでいる。(逆転設問)	○	
5	1.701	私はこの病院での薬剤師業務にほぼ満足している。	○	
6	1.628	この病院では薬剤師の仕事がやりやすい体制になっていると思う。	○	
7	1.621	この病院では、患者のニーズを優先した薬剤師業務体制ができていないと思う。(逆転設問)	○	
8	1.557	他の人に、私がどんな仕事をしているか誇りを持って話せる。	○	
9	1.518	この病院では私がやりたいと思っている研究活動をサポートしてくれる。		○
10	1.506	この病院の医師は薬剤師が行っていることを十分理解している。	○	
11	1.430	適時、ファーマシューティカルケアの重要な決定をする自由が私にはある。さらに監督者は私を支えてくれる。	○	
12	1.407	この病院の薬剤師管理者は日常の諸問題について職員の意見をよく聞いてくれる。	○	
13	1.385	病院の薬物治療方針や教育計画などには薬剤師の意見が反映される。	○	
14	1.366	病院の管理方針と、日常起こっている薬剤師業務の問題との間には大きなギャップがある。(逆転設問)	○	
15	1.360	自分の行っている仕事(内容、質、やり方)に満足していない。(逆転設問)	○	
16	1.287	私の職場では、いろんなレベルの薬剤師の間で、よいチームワークと協力体制ができています。	○	
17	1.267	私の病院の医師は薬剤師に協力的ではない。(逆転設問)	○	
18	1.263	この病院では、薬剤師個々の向上のための機会がたびたびある。	○	
19	1.263	私の仕事はいろいろな技術や知識を必要としない。(逆転設問)	○	
20	1.241	薬剤師業務が経営者に評価されていないと私は感じる。(逆転設問)		○
21	1.153	この病院は、薬剤師に期待しているだけあって、私達は仕事に見合った給料をもらっている。	○	
22	1.147	私のいる病院では階級意識が強くて、薬剤師の間の縦のつながりが少ない。(逆転設問)	○	
23	1.098	必要以上に細かく監督されていると私は感じる。(逆転設問)	○	
24	1.093	私には他の薬剤師と患者ケアに関する問題を話し合う十分な時間と機会がある。	○	
25	1.076	自分がしている仕事は本当に大切だと思う。	○	
26	1.034	先輩にあたる薬剤師達の意見がそれぞれ矛盾していることが多いように感じる。(逆転設問)	○	
27	1.008	この病院は薬剤師を含めて、雇用者の厚生についてよく考慮されている。		○

Table 2

Temp-JOBSSに対する因子分析（妥当性評価）とCronbach  $\alpha$  信頼性係数（内的整合性評価）

Temp-JSHP27 設問文	因子名(命名)	因子1	因子2	因子3	因子4	因子5	因子6	Cronbach $\alpha$ 係数
医師は薬剤師に協力的ではない。(逆転設問)	チーム医療	0.8276	-0.1259	0.1858	-0.0070	0.0217	-0.2228	0.8641
薬剤師と医師の間のチームワークが良い。		0.7794	0.0750	-0.0249	0.0485	0.0242	0.0549	
医師は薬剤師が行っていることを十分理解している。		0.6933	0.2154	-0.0715	0.0493	0.1047	-0.1195	
薬剤師の意見が他の医療従事者に受け入れやすい。		0.6376	0.0586	0.0914	0.0615	0.0578	0.1596	
病院の薬物治療方針や教育計画などには薬剤師の意見が反映される。		0.5951	-0.0386	-0.0603	0.0498	0.0328	0.3240	
薬剤師は医療チームの一員として受け入れられている。		0.5615	0.0450	-0.0455	0.1719	-0.0037	0.3073	
私は薬剤師業務にほぼ満足している。	薬剤部門 業務体制	0.0846	0.7180	0.0005	0.1673	0.0919	-0.0153	0.8005
私には他の薬剤師と患者ケアに関する問題を話し合う十分な時間と機会がある。		0.1722	0.5968	0.1713	-0.0597	-0.2694	0.1072	
薬剤師に期待しているだけあって、私達は仕事に見合った給料をもらっている。		-0.0108	0.5628	-0.1714	-0.0784	0.4152	-0.0429	
自分の行っている仕事(内容、質、やり方)に満足していない。(逆転設問)		-0.0728	0.4999	0.1707	0.2781	0.1710	-0.1050	
患者のニーズを優先した薬剤師業務体制ができていないと思う。(逆転設問)		0.0870	0.4588	0.0842	0.0206	0.1805	0.1755	
薬剤師の仕事がやりやすい体制になっていると思う。		0.2998	0.4392	0.0394	-0.0928	0.2241	0.1008	
いろいろなレベルの薬剤師の間で、よいチームワークと協力体制ができている。	-0.0998	0.4105	0.3151	0.1399	-0.1365	0.3818	0.7098	
階級意識が強くて、薬剤師の間の縦のつながりが少ない。(逆転設問)	-0.0296	0.0396	0.7866	0.1344	-0.0925	0.0227		
先輩にあたる薬剤師達の意見がそれぞれ矛盾していることが多いように感じる。(逆転設問)	-0.0366	0.0834	0.7128	-0.0568	0.0685	0.1997		
必要以上に細かく監督されていると私は感じる。(逆転設問)	0.2853	-0.0290	0.6507	-0.0233	0.1731	-0.1208	0.7441	
自分がしている仕事は本当に大切だと思う。	-0.0700	0.0061	-0.1239	0.8189	0.0074	0.1284		
私の仕事はいろいろな技術や知識を必要としない。(逆転設問)	0.0576	-0.1540	0.1091	0.7441	-0.0622	-0.0052		
他の人に、私がどんな仕事をしているか誇りを持って話せる。	0.2025	0.2956	-0.0862	0.6185	-0.0272	-0.0450		
私は一生懸命おこなっている仕事に結局何の意義も見いだせないでいる。(逆転設問)	0.1176	0.1352	0.3003	0.5279	0.2207	-0.1420	0.7050	
薬剤師を含めて、雇用者の厚生についてよく考慮されている。	0.0543	0.1044	-0.1220	0.0615	0.7111	0.0223		
薬剤師業務が経営者に評価されていないと私は感じる。(逆転設問)	0.1009	-0.0601	0.1027	0.0344	0.7089	0.1134		
病院の管理方針と、薬剤師業務との間に大きなギャップがある。(逆転設問)	0.0512	0.0949	0.3278	-0.0978	0.6347	0.0715	0.7064	
薬剤師の管理者は日常の諸問題について職員の意見をよく聞いてくれる。	0.0340	0.0242	0.3231	-0.0382	0.0252	0.6158		
私がやりたいと思っている研究活動をサポートしてくれる。	0.0674	-0.0975	0.0132	0.1596	0.3313	0.5624		
薬剤師個々の向上のための機会がたびたびある。	0.0451	0.1433	-0.0132	0.1374	0.2406	0.5091		
適時、ファーマシューティカルケアの重要な決定をする自由が私にはある。	0.3857	0.1521	-0.0526	0.0730	-0.1390	0.4535		

JOBSS-HP27  
(6因子27設問)



「尾崎修正版尺度」  
(7因子46設問)

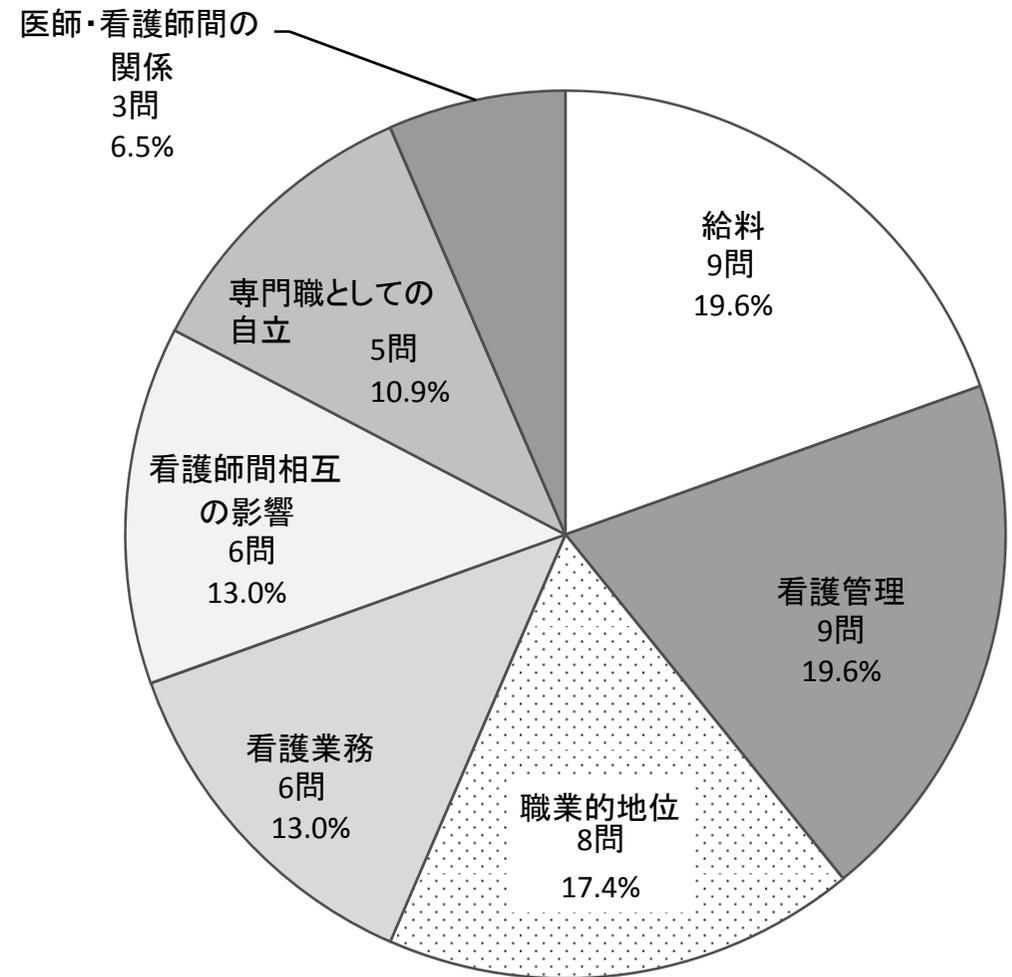


Fig.1 病院薬剤師用に開発したJOBSS-HP27と開発のベースとした看護師の「尾崎修正版尺度」の構成因子における設問比率

# 病院薬剤師版職務満足度測定尺度（JOBSS-HP27） Ver.1

回答者用シート

設 問 文		全 く そ う だ	お お む ね そ う だ	や や そ う だ	ど ち ら ど も な い	や や 違 う	お お む ね 違 う	全 く 違 う
1	「私の勤務する病院（では、の、で）、～」という文章に引き続く、以下の27の設問文に対し、 <u>全くそうだ～全く違う</u> の7段階で評価し、あてはまるものにチェック☑してください。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	薬剤師の仕事がやりやすい体制になっていると思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	医師は薬剤師に協力的ではない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	必要以上に細かく監督されていると私は感じる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	病院の管理方針と、薬剤師業務との間に大きなギャップがある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	先輩にあたる薬剤師達の意見がそれぞれ矛盾していることが多いように感じる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	薬剤師に期待しているだけあって、私達は仕事に見合った給料をもらっている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	自分がしている仕事は本当に大切だと思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	いろいろなレベルの薬剤師の間で、よいチームワークと協力体制ができています。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	薬剤師個々の向上のための機会がたびたびある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	薬剤師と医師の間のチームワークが良い。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	自分の行っている仕事（内容、質、やり方）に満足していない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	私には他の薬剤師と患者ケアに関する問題を話し合う十分な時間と機会がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	私は一生懸命おこなっている仕事に結局何の意義も見いだせないでいる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	階級意識が強くて、薬剤師の間の縦のつながりが少ない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16	薬剤師を含めて、雇用者の厚生についてよく考慮されている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	他の人に、私がどんな仕事をしているか誇りを持って話せる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18	患者のニーズを優先した薬剤師業務体制ができていないと思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19	私は薬剤師業務にほぼ満足している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20	医師は薬剤師が行っていることを十分理解している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
21	薬物治療方針や教育計画などには薬剤師の意見が反映される。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
22	私の仕事はいろいろな技術や知識を必要としない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
23	薬剤師の管理者は、日常の諸問題について職員の意見をよく聞いてくれる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
24	適時、ファーマシューティカルケアの重要な決定をする自由が私にはある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
25	薬剤師の意見が他の医療従事者に受け入れやすい。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
26	薬剤師業務が経営者に評価されていないと感じる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
27	薬剤師は医療チームの一員として受け入れられている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
28	私がやりたいと思っている研究活動をサポートしてくれる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

回答日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日      回答者： \_\_\_\_\_

# 病院薬剤師版職務満足度測定尺度（JOBSS—HP27） Ver.1

採点シート（実施者用）

結果	A.総合満足度：_____点/162点（ _____ %） B.因子別満足度： 1)チーム医療_____点/36点（ _____ %）、 2)薬剤部門業務体制_____点/42点（ _____ %）、 3)上下関係_____点/18点（ _____ %）、 4)仕事に対する誇り_____点/24点（ _____ %）、 5)病院管理・経営者との関係_____点/36点（ _____ %）、 6)職務上の自由度_____点/24点（ _____ %）								備考	
	1	薬剤師の仕事がやりやすい体制になっていると思う。	2) 薬剤部体制	6	5	4	3	2		1
2	医師は薬剤師に協力的ではない。（逆転設問）	1) チーム医療	0	1	2	3	4	5	6	
3	必要以上に細かく監督されていると私は感じる。（逆転設問）	3) 上下関係	0	1	2	3	4	5	6	
4	病院の管理方針と、薬剤師業務との間に大きなギャップがある。（逆転設問）	5) 経営・管理者	0	1	2	3	4	5	6	
5	先輩にあたる薬剤師達の意見がそれぞれ矛盾していることが多いように感じる（逆転設問）	3) 上下関係	0	1	2	3	4	5	6	
6	薬剤師に期待しているだけあって、私達は仕事に見合った給料をもらっている。	2) 薬剤部体制	6	5	4	3	2	1	0	
7	自分がしている仕事は本当に大切だと思う。	4) 仕事誇り	6	5	4	3	2	1	0	
8	いろいろなレベルの薬剤師の間で、よいチームワークと協力体制ができています。	2) 薬剤部体制	6	5	4	3	2	1	0	
9	薬剤師個々の向上のための機会がたびたびある。	6) 職務自由度	6	5	4	3	2	1	0	
10	薬剤師と医師の間のチームワークが良い。	1) チーム医療	6	5	4	3	2	1	0	
11	自分の行っている仕事（内容、質、やり方）に満足していない。（逆転設問）	2) 薬剤部体制	0	1	2	3	4	5	6	
12	私には他の薬剤師と患者ケアに関する問題を話し合う十分な時間と機会がある。	2) 薬剤部体制	6	5	4	3	2	1	0	
13	私は一生懸命おこなっている仕事に結局何の意義も見いだせないでいる。（逆転設問）	4) 仕事誇り	0	1	2	3	4	5	6	
14	階級意識が強くて、薬剤師の間の縦のつながりが少ない。（逆転設問）	3) 上下関係	0	1	2	3	4	5	6	
15	薬剤師を含めて、雇用者の厚生についてよく考慮されている。	5) 経営・管理者	6	5	4	3	2	1	0	
16	他の人に、私がどんな仕事をしているか誇りを持って話せる。	4) 仕事誇り	6	5	4	3	2	1	0	
17	患者のニーズを優先した薬剤師業務体制ができていないと思う。（逆転設問）	2) 薬剤部体制	0	1	2	3	4	5	6	
18	私は薬剤師業務にほぼ満足している。	2) 薬剤部体制	6	5	4	3	2	1	0	
19	医師は薬剤師が行っていることを十分理解している。	1) チーム医療	6	5	4	3	2	1	0	
20	薬物治療方針や教育計画などには薬剤師の意見が反映される。	1) チーム医療	6	5	4	3	2	1	0	
21	私の仕事はいろいろな技術や知識を必要としない。（逆転設問）	4) 仕事誇り	0	1	2	3	4	5	6	
22	薬剤師の管理者は、日常の諸問題について職員の意見をよく聞いてくれる。	6) 職務自由度	6	5	4	3	2	1	0	
23	適時、ファーマシューティカルケアの重要な決定をする自由が私にはある。	6) 職務自由度	6	5	4	3	2	1	0	
24	薬剤師の意見が他の医療従事者に受け入れやすい。	1) チーム医療	6	5	4	3	2	1	0	
25	薬剤師業務が経営者に評価されていないと私は感じる。（逆転設問）	5) 経営・管理者	0	1	2	3	4	5	6	
26	薬剤師は医療チームの一員として受け入れられている。	1) チーム医療	6	5	4	3	2	1	0	
27	私がやりたいと思っている研究活動をサポートしてくれる。	6) 職務自由度	6	5	4	3	2	1	0	
		計								

回答日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日      回答者： \_\_\_\_\_

日本大学薬学部 病院薬学研究室（2012）

添付資料（2）JOBSS—HP27 質問票（採点シート）